



鉄のふしぎ？ 博物館

これから毎月紙面の上でお会いする予定の『むらの鍛冶屋』です。おっとハンドルネームで書いてしまいました。衣川良介です。兵庫県姫路市で地場産業の鎖を製造している二代目社長です。鉄や金物、ステンレス鋼や、ものづくりが大好きで40年余りもこの道に携わることになってしまいました。

「石コロは磁石につきますか？」



市川の石コロ

「石コロは磁石につきますか？」大勢の人にお聞きして来ましたが、あなたはどうお答えになりますか？『磁石につくのは、鉄・ニッケル・コバルトで、石コロは磁石につきません』こうお答えになりますか？子供たちをともなつて近くの河原へ、強いネオジウム磁石を

衣川製鎖工業・衣川良介社長

ひよんな事から、新聞にコラムを書くことになりました。何でも自由に書いてください。この一言で毎月一千二百字の文章作成。テーマは『鉄のふしぎ博物館』です。日刊産業新聞の毎月第一月曜日に掲載予定。どんな事になるやら、不安もあります。前向きに挑戦します。皆さん、応援をよろしくお願いします。

持って遊びに行ってみましょう。豆粒や米粒くらいの石があるところへ磁石を近づけてゆくと『あれ！あれ！』磁石につく石コロを発見されることでしょうか。『磁石につくのは、鉄・ニッケル・コバルトで、石コロは磁石につきません』こうお答えになりますか？

『今、新日本製鉄八幡製鉄所で使っている鉄鋼原料、オーストラリア、ハマスレー産の赤鉄鉱は磁石につくでしょうか？』実験してみました。たまたま、磁石に反応する鉱石もありますが、基本的に磁石につきません、答えはNOです。ちなみに鉄の含有量は50%前後です。製鉄原料の赤鉄鉱が磁石につかずに、石コロが磁石についたのです。

こんな実験をして子供達を遊ばせる、小さな15坪ほどの『鉄のふしぎ博物館』を2009年7月に開館しました。ほとんどの展示品は手で触ることができず、手でもって重さを感じたり、手触

り確かめたりできませぬ。『これ重いなあ！』ギボン隕鉄の塊を手にした彼が言いました。主な展示品は以下です。
▽磁石につくもの
鉄・ニッケル・コバルト・各地の砂鉄・石ころ・ホツカイロ
▽磁石に天然磁石・強力な磁石
▽各種鉄鉱石
赤鉄鉱・磁鉄鉱（含む 餅鉄・結晶）
▽金属元素
クロム・マンガン・ジルコン・タンタル・シリコン・タンクス
鉄のふしぎ博物館
住所 姫路市飾磨区阿成渡場1111（衣川製鎖工業内）
電話 079-2341515
※毎月第一月曜日に掲載します。

日刊産業新聞 12・9・3

画像はカラーと交換しています。